

INTESTINE

第 21 卷 ● 総目次

Vol.21 / No. 1 ~ No. 6

(2017 年 1・2 月 ~ 11・12 月号)

|||||| 今月の特集 |||||||

- No. 1 大腸 Interval cancer をめぐる最近の知見
No. 2 小児・妊婦・高齢者に対する IBD 診療
No. 3 直腸早期癌 — 治療の新たな展開
No. 4 腸内細菌をめぐる
No. 5 大腸腫瘍診断のモダリティと新たな展開 — 存在診断能・質的診断能の向上を目指して
No. 6 小腸の炎症性病変を見直す

● Vol.21 No.1 大腸 Interval cancer をめぐる最近の知見

序 説	工藤 進英	5-6
I. 大腸 Interval cancer の概念と問題点		
山野 泰穂・松下 弘雄・吉川健二郎		
高木 亮・原田 英嗣・田中 義人		
吉田 優子・津田 一範・加藤文一朗		
永塚 真・菅井 有・山本英一郎		
鈴木 拓	7-14	
II. Japan Polyp Study からみる大腸 Interval cancer		
松田 尚久・佐野 寧・藤井 隆広		
Japan Polyp Study (JPS) Workgroup	15-22	
III. 大腸 Interval cancer の頻度、発生危険因子、悪性度と予後		
小林 望・小西 潤・今野 真己	23-28	
IV. 大腸 Interval cancer を防ぐために		
堀田 欣一・今井健一郎・伊藤 紗代		
山口裕一郎・川田 登・滝沢 耕平		
角嶋 直美・田中 雅樹・小野 裕之	29-34	
V. 大腸 Interval cancer の症例報告		
(1) 初回検査より 2 年後に発見された直腸 Interval cancer の 1 例		
千葉 秀幸・木庭 郁朗・立川 準		
栗原 大典・芦荊 圭一・高橋 昭裕		
後藤 亨	35-40	
(2) ポリープ切除 3 年後のサーベイランスで発見された直腸 Interval cancer の 1 例		
千葉 秀幸・木庭 郁朗・立川 準		
栗原 大典・芦荊 圭一・高橋 昭裕		
後藤 亨	41-46	

(3) 下行結腸 ESD 後経過中に発見された横行結腸発生 の T2 癌 の 1 例		
吉田 直久・内藤 裕二・村上 貴彬		
小木曾 聖・廣瀬 亮平・中西 正芳		
岸本 光夫・小西 英一・伊藤 義人	47-51	
(4) 盲腸 ESD 後経過中に発見された上行結腸発生 の T3 癌 の 1 例		
吉田 直久・内藤 裕二・村上 貴彬		
小木曾 聖・稲田 裕・中西 正芳		
岸本 光夫・小西 英一・伊藤 義人	52-56	
(5) 15 カ月の検査間隔後に発見された S 状結腸 Interval cancer の 1 例		
堀井城一郎・豊川 達也・松枝 克典		
安井七々子・磯田 健太・藤田 勲生		
岩川 和秀	57-62	
(6) 多発ポリープ切除後に発見された 4mm の Interval cancer の 1 例		
岩館 峰雄・砂川 弘憲・内海 貴裕		
服部 三太・佐野 互・蓮池 典明		
生本 太郎・小高 雅人・佐野 寧	63-66	
(7) 大腸癌術後 1 年目に発見された Interval cancer の 1 例		
岩館 峰雄・砂川 弘憲・内海 貴裕		
服部 三太・佐野 互・蓮池 典明		
生本 太郎・小高 雅人・佐野 寧	67-70	
(8) RS に隠された Interval advanced cancer の 1 例		
岩館 峰雄・砂川 弘憲・内海 貴裕		
服部 三太・佐野 互・蓮池 典明		
生本 太郎・小高 雅人・佐野 寧	71-74	
(9) 前処置不良検査で見逃された盲腸の In-		

terval advanced cancer の1例		
岩館 峰雄・砂川 弘憲・内海 貴裕		
服部 三太・佐野 互・蓮池 典明		
生本 太郎・小高 雅人・佐野 寧	75-78	
(10) Serrated polyposis syndrome (SPS)を 背景に急速発育したと考えられる Inter- val cancer の1例		
松本 健史・村上 敬・坂本 直人		
小森 寛之・赤澤 陽一・立之 英明		
澁谷 智義・浪久 晶弘・渡辺 純夫	79-83	
VI. 症例のまとめ—Interval cancer と Post- colonoscopy CRC について		
藤井 隆広	85-90	
● Vol.21 No.2 小児・妊婦・高齢者に対する IBD 診療		
序 説	渡辺 守	105-106
I. [総 論] 小児の炎症性腸疾患の特徴		
清水 俊明	107-112	
II. 小児炎症性腸疾患の疫学		
石毛 崇・友政 剛・龍城真衣子		
羽鳥 麗子・荒川 浩一	113-118	
III. 小児における炎症性腸疾患の鑑別診断		
竹内 一郎・新井 勝大	119-125	
IV. 小児炎症性腸疾患に対する治療		
余田 篤	127-132	
V. [総 論] 妊娠・出産における炎症性腸 疾患の特徴		
渡辺知佳子・穂苅 量太・三浦総一郎	133-138	
VI. 炎症性腸疾患における妊娠希望者・妊婦 に対する指導と管理, 看護の実際		
国崎 玲子・大竹はるか・西尾 匡史		
小柏 剛・木村 英明・中川まどか		
返田 紀子・青木 茂・関 和男	139-147	
VII. 炎症性腸疾患が妊娠・胎児に与える影響		
長沼 誠・金井 隆典	149-154	
VIII. 妊娠・授乳期における炎症性腸疾患治療 薬の使い方		
齊藤 詠子・日比 紀文	155-160	
IX. [総 論] 高齢者炎症性腸疾患の特徴		
穂苅 量太・白壁 和彦・渡辺知佳子		
東山 正明・高本 俊介	161-165	
X. 高齢者に対する炎症性腸疾患治療におけ る注意点		
長堀 正和	167-171	
XI. 高齢者炎症性腸疾患に対する外科治療		
池内 浩基・内野 基・坂東 俊宏		
平田 晃宏・蝶野 晃宏・佐々木寛文		
堀尾 勇規・後藤 佳子	173-177	
● Vol.21 No.3 直腸早期癌—治療の新たな展開		
序 説	渡邊 聡明	197
I. [総 論] 直腸早期癌手術に必要な骨盤 解剖		
大田 貢由・諏訪 雄亮・中川 和也		
樺山 将士・石部 敦士・渡邊 純		
諏訪 宏和・遠藤 格・大木 繁男	199-203	
II. 直腸 T1 癌の特徴—結腸 T1 癌と比較し て		
本部 卓也・依田 雄介・池松 弘朗	205-210	
III. 内視鏡治療		
(1) ポケット法 (Pocket-creation method ; PCM)を用いた直腸 ESD		
林 芳和・山本 博徳	211-218	
(2) 歯状線に接する病変の ESD		
嶋田賢次郎・田中 信治・田丸 弓弦		
林 奈那・岡 志郎・茶山 一彰	219-226	
(3) 直腸 ESD の合併症(狭窄や implantation) の予防と対策		
石垣 智之・工藤 進英・林 武雅		
桜井 達也・豊嶋 直也・工藤 豊樹		
若村 邦彦・宮地 英行・石田 文生	227-232	
IV. 直腸早期癌に対する経肛門的切除術		
岡本 康介・松島 誠・小菅 経子		
杉田 博俊・香取 玲美・河野 洋一		
長谷川信吾・下島 裕寛・黒水 丈次	233-239	
V. TAMIS (transanal minimally invasive surgery) 一局所切除		
竹政伊知朗	241-248	
VI. 直腸早期癌に対する腹腔鏡下手術		
佐々木和人・田中 敏明・渡邊 聡明	249-253	
VII. 直腸早期癌に対する単孔式腹腔鏡手術 —単孔+1 ポート法		
福永 正氣・永坂 邦彦・吉川征一郎		
飯田 義人・大内 昌和・平崎 憲範		
東 大輔・小浜信太郎・野本 潤	255-260	
VIII. 直腸早期癌に対する taTME		
長谷川 傑・橋本 恭弘・中島 亮		
長野 秀紀・松岡 泰祐・薦野 晃		
坂本 良平・愛洲 尚哉・小島 大望		
吉田陽一郎	261-266	
IX. ロボット支援下直腸癌手術		
長澤 芳信・絹笠 祐介	267-271	
● Vol.21 No.4 腸内細菌をめぐって		
序 説	日比 紀文	285-286
I. 腸内細菌をめぐる基礎研究のプレイクス ルー		
(1) 腸内マイクロバイオームの網羅的解析法		
須田 互・服部 正平	287-292	
(2) 腸内細菌と腸管免疫		
大野 博司	293-300	
II. 炎症性腸疾患と腸内細菌		
(1) 炎症性腸疾患の病態における腸内細菌の 役割		
水野 慎大・金井 隆典	301-305	
(2) 炎症性腸疾患の病態における腸内細菌と 腸腸相関の役割		
寺谷 俊昭・鈴木 貴博・金井 隆典	306-309	
(3) 食事の欧米化と腸内細菌の変化		
小林 拓	310-314	
III. 機能的胃腸症と腸内細菌		

(1) 過敏性腸症候群の病態における腸内細菌の役割	福土 審	315-320	浦岡 俊夫・田中 信治・松本 主之 斎藤 豊・斎藤 彰一・松田 尚久 岡 志郎・森山 智彦・緒方 晴彦 矢作 直久・石川 秀樹・田尻 久雄	429-433
(2) ストレスと腸内細菌	高城 健・穂苅 量太	321-325	II. 拡大・超拡大内視鏡における質的診断能向上の検討	
(3) 消化管運動と腸内細菌	鎌田 和浩・内藤 裕二	326-330	(1) 拡大内視鏡診断	
IV. 発癌と腸内細菌			a. 色素を主体とした拡大内視鏡観察の立場から	
(1) 大腸癌と腸内細菌	土肥多恵子	331-334	加藤文一郎・松下 弘雄・吉川健二郎 高木 亮・原田 英嗣・田中 義人 吉田 優子・津田 一範・田村 恵理 山野 泰穂	435-441
(2) 大腸癌と口腔内細菌	小宮 靖彦・日暮 琢磨・中島 敦	335-340	b. NBI を主体とした拡大内視鏡観察の立場から (JNET 分類)	
V. 腸内細菌を標的とした消化器疾患の治療法	藤谷 幹浩	341-350	住元 旭・田中 信治・林 奈那 二宮 悠樹・田丸 弓弦・平野 大樹 岡 志郎・茶山 一彰	442-448
VI. 糞便微生物移植療法 (FMT) と消化器疾患	安藤 朗・西田 淳史・井上 亮	351-357	c. BLI・LCI による拡大内視鏡観察の可能性	
VII. 生活習慣病と腸内細菌	入江潤一郎・伊藤 裕	359-363	伊藤 鍊磨・新村 健介・池松 弘朗	449-454
● Vol.21 No.5 大腸腫瘍診断のモダリティと新たな展開—存在診断能・質的診断能の向上を目指して			(2) 超拡大内視鏡診断の現状と課題	
序 説	工藤 進英	385-386	森 悠一・工藤 進英・若村 邦彦 三澤 将史・工藤 豊樹・武田 健一 一政 克郎・小川 悠史・井上 晴洋	455-462
I. 通常内視鏡における存在診断能向上の検討			[コラム] その他のモダリティにおける診断能向上の検討	
(1) 通常内視鏡観察			大腸カプセル内視鏡—前処置, 通常観察から FICE も含めて	
a. デバイスを用いない通常観察—見逃しを防止するための観察の工夫	入口 陽介・小田 丈二・水谷 勝 高柳 聡・富野 泰弘・山里 哲郎 岸 大輔・山村 彰彦・細井 董三	387-392	岡 志郎・田中 信治・大谷 一郎 國原紗代子・茶山 一彰	463-465
b. デバイスを用いた通常観察	今枝 博之・山岡 稔・大庫 秀樹 相馬 宏光・芦谷 啓吾・藤井 庸平 中尾 将光・都築 義和・中元 秀友	393-397	CT コロノグラフィーにおける大腸腫瘍の存在診断能と質的診断能	
(2) 通常内視鏡での画像強調観察			満崎 克彦	466-468
a. 色素散布は存在診断能を向上させるか? —鋸歯状病変および平坦・陥凹型病変を中心に	三澤 将史・工藤 進英・小川 悠史 山内 章裕・中村 大樹・森 悠一 林 武雅・若村 邦彦・工藤 由比	398-404	● Vol.21 No.6 小腸の炎症性病変を見直す	
b. NBI による診断能の向上の可能性	藤井 隆広	405-412	序 説	松本 主之
c. BLI・LCI による診断能向上の可能性	吉田 直久・内藤 裕二・安田 律 村上 貴彬・廣瀬 亮平・岸本 光夫 小木曾 聖・稲田 裕・伊藤 義人	413-420	I. 総論—小腸炎症性疾患の診断法	竹内 健
(3) 超広角視野内視鏡			II. 各 論	
a. FUSE	工藤 豊樹・斎藤 豊・池松 弘朗 堀田 欣一・竹内 洋司・石川 秀樹 森 悠一・前田 康晴・工藤 進英	421-428	(1) 腸管バーチェット病・単純性潰瘍の病態と診断	林田 真理・久松 理一
b. オリンパス			(2) 腸管バーチェット病に対する抗 TNF- α 抗体療法の効果	長沼 誠
			(3) 染色体異常 (トリソミー 8) と小腸潰瘍症	梁井 俊一・菅井 有・松本 主之
			(4) Chronic enteropathy associated with <i>SLCO2A1</i> gene (CEAS, 非特異性多発性小腸潰瘍症) の病態と特徴	梅野 淳嗣・江崎 幹宏・平野 敦士 安川 重義・平井 郁仁・松井 敏幸 八尾 恒良・松本 主之
			(5) Cryptogenic multifocal ulcerous stenosing enteritis (CMUSE) の病態	518-525

永山 学・矢野 智則・坂本 博次 砂田圭二郎・山本 博徳	526-530	堀木 紀行・柿本 一城・樋口 和秀	542-547
(6) 小腸リンパ管拡張症の臨床像と治療		(9) Collagenous sprue の特徴と内視鏡所見	548-553
中村 正直・大宮 直木・廣岡 芳樹 後藤 秀実	531-535	(10) Whipple 病の特徴	
(7) 炎症性腸疾患における <i>MEFV</i> 遺伝子変異		長末 智寛・蔵原 晃一・川崎 啓祐 八板 弘樹・大城 由美・江崎 幹宏	554-558
本澤 有介・松浦 稔・山本 修司 妹尾 浩・仲瀬 裕志	536-541	(11) ANCA 関連血管炎の小腸病変	
(8) 家族性地中海熱の小腸病変		鳥巢 剛弘・岡本 康治・梅野 淳嗣 永田 豊・原田 英・澤野美由紀 江崎 幹宏	558-563
仲瀬 裕志・小柏 剛・国崎 玲子 長末 智寛・梁井 俊一・松本 主之			

TOPICS

Vol.21 No.1		竹内 健・新井 典岳・鈴木 康夫	276-278
日本人における炎症性腸疾患の遺伝的特徴		Vol.21 No.4	
冬野 雄太・江崎 幹宏・松本 主之 北園 孝成	91-95	炎症に伴う microRNA 機能不全を一因とし た大腸腫瘍発生の病態解明	
クローン病の粘膜治癒予測における免疫学的 便潜血検査と便中カルプロテクチン検査の 比較		吉川 剛史・大塚 基之・小池 和彦	364-367
井口 俊博・加藤 順・平岡佐規子 高嶋 志保・高原 政宏・岡田 裕之	96-98	大腸 endocytoscopy を用いた、コンピュー タ自動診断システム：国際 web 試験	
Vol.21 No.2		森 悠一・工藤 進英 Philip Wai Yan Chiu Rajvinder Singh・三澤 将史	368-370
潰瘍性大腸炎合併大腸癌に対するサーベイラ ンスにおける狙撃生検とランダム生検の多 施設ランダム化比較試験		Vol.21 No.5	
渡邊 聡明・味岡 洋一・光山 慶一 渡辺 憲治・花井 洋行・仲瀬 裕志 国崎 玲子・松田 圭二・岩切 龍一 樋田 信幸・田中 信治・竹内 義明 大塚 和朗・村上 和成・小林 清典 岩男 泰・長堀 正和・飯塚 文瑛 畑 啓介・五十嵐正広・平田 一郎 工藤 進英・松本 主之・上野 文昭 渡辺 玄・池上 雅博・伊東 陽子 大庭 幸治・井上 永介・友次 直輝 武林 亨・杉原 健一・鈴木 康夫 渡辺 守・日比 紀文	179-181	クローン病に対するアダリムマブ単独および アザチオプリン併用療法の比較：無作為前 向き研究	
リアルタイム大腸 NBI 拡大内視鏡画像認識 システムによる大腸ポリープ組織診断に関 する検討		松本 主之・本谷 聡・渡辺 憲治 久松 理一・仲瀬 裕志・吉村 直樹 石田 哲也・加藤 真吾・中川 倫夫 江崎 幹宏・長堀 正和・松井 敏幸 内藤 裕二・金井 隆典・鈴木 康夫 野島 正寛・渡辺 守・日比 紀文 (DIAMOND study group)	469-471
吉田 成人・小南 陽子・田中 信治 玉木 徹・小出 哲士・茶山 一彰	182-184	SCENIC コンセンサスステートメントにより 分類した潰瘍性大腸炎関連 dysplasia の内 視鏡的形態の特徴	
Vol.21 No.3		杉本 真也・長沼 誠・岩男 泰 金井 隆典	472-474
T 細胞受容体のコアフコースは、炎症性腸疾 患の発症に重要な役割をもつ		Vol.21 No.6	
三善 英知・藤井 宏修・鎌田 佳宏 新崎信一郎・飯島 英樹・竹原 徹郎	273-275	Dysplasia/癌併存の有無による sessile serrat- ed adenoma/polyp の内視鏡的特徴の違い	
便中カルプロテクチンはバルーン小腸内視鏡 と CT エンテログラフィーで確認した小腸 クローン病の重症度と相関する		村上 敬・坂本 直人・立之 英明 澁谷 智義・長田 太郎・三富 弘之 八尾 隆史・渡辺 純夫	565-568
		Endocytoscopy を用いた大腸腫瘍性病変に おける細胞核の形態分類	
		工藤 豊樹・森 悠一・若村 邦彦 三澤 将史・豊嶋 直也・林 武雅 石田 文生・井上 晴洋・工藤 進英	569-572

Vol.21 No.2 [第 25 回 Young award] 腫瘍径 10mm の II c 型 SM 浸潤癌の 1 例 渡部真裕子・工藤 進英・神山 勇太 工藤 豊樹・若村 邦彦・林 武雅 185-189 Vol.21 No.4 [第 25 回最優秀演題] 拡大内視鏡にて診断しえた微小な Carcinoma with SSA/P の 1 例 原田 英嗣・山野 泰穂・松下 弘雄	吉川健二郎・高木 亮・田中 義人 菅井 有・永塚 真・山本英一郎 鈴木 拓 371-378 Vol.21 No.5 [第 26 回 Young award] 短期間で形態および拡大観察所見が変化した SSA/P 由来の T1 癌の 1 例 山下 賢・岡 志郎・田中 信治 有廣 光司・嶋本 文雄・茶山 一彰 475-481
---	---

Vol.21 No.1	
通常内視鏡観察による早期胃癌の拾い上げと 診断	田尻 久雄
	84

編集主幹
工藤 進英／日比 紀文

編集委員
今村 哲理／岩下 明德／大倉 康男／緒方 晴彦／鈴木 康夫／田中 信治／鶴田 修／
平田 一郎／藤井 隆広／松本 主之／山野 泰穂／山本 博徳／渡辺 守／故 渡邊 聡明